

社協仲間の仕事ぶりをご紹介します!! 米子市社協 礒岩愛さん

福祉のまちづくり推進課 副主任

プロフィールを教えてください?

県外の特養で相談員に従事している時に、特養の地域貢献のような感じで、サロンのような地域みなさんに来てもらおうという取り組みを同僚と一緒にしていました。地域づくりに興味をもっていたこともあり、米子に帰ってきたタイミングで募集の出ていた米子市社協へ入職しました。最初は、包括のプランナーを経て、現在は「福祉のまちづくり推進課」で地域福祉活動計画策定と地区のコミュニティーワーカーとして、11地区を担当しています。

力を入れているお仕事は何ですか?

どの仕事にも**全力投球**なので、全部の仕事に力を入れています。担当している米子市地域“つながる”福祉プラン(米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画)は、米子市と共同で策定しています。現在、共同で策定して2期目の計画が完成間近なので、この計画をできるだけ多くの方に知っていただき、協力が得られれば

と考えています。自分たちの地域は自分たちでつくっていくという気持ちをみなさんに持ってもらいたいですし、特に子どもたちにそのことを知ってもらいたいと思



っているところです。地域福祉活動計画の重点項目の一つが福祉教育の推進なので、小学校等の授業の中で、計画についても少し話したいと思っています。また、小さい頃から地域の中で生きていることや、**地域活動などに興味を持ってもらうことの必要性**をすごく感じています。福祉教育の一環で、「災害と地域福祉」をテーマにした授業では、地域福祉活動はこんながあるよということや、災害が起きると地域のつながりがさらに大事になるよねという話をします。そして、模擬支援愛マップをみんなで作ってみて、災害が起きた

時に避難に困る人や支援ができそうな人はどういう人か考え、最後はよりよい地域づくりのために、自分は何が出来るのかを考えてもらう授業をしています。

心掛けていることはありますか?

地域のみなさんへの感謝を忘れないということです。社協にいないければ、多くの人が地域のために、活動してくれているということが、なかなか見えなかったと思うんです。みなさんが自分の地域を良くするためとか、地域の人のためという思いで動かれている。そういう気持ちや熱意があまり気づかれていないし、当たり前にあるものとして捉えられていると感じることがあります。地域のそう



いう方がいるからこそ、今の地域が成り立っているし、みんなが安全に幸せに暮らしていると思うので、見返りを求めずに地域のために動かれている方にはすごく感謝をしています。子どもたちにも、安全に登下校できるように地域の方が見守ってくれているんだよと伝えていきます。**みなさんの活動があつてこそその地域なんです**ということを伝えるようにしています。

わたしに必要な「コレ」

月に1回、ママ友の始めた地域食堂を手伝っています。がんばっている人を見ると元気をもらえるので、手伝いつつ、同世代のお母さんたちとわいわいおしゃべりしてエネルギーをもらってます。

前向きでエネルギーいっぱいな礒岩さんらしいエピソードでした。

地域のお宝発見！！

「地域に温もり支えあいの居場所を」夢現の風(むげんのかぜ)

八橋の町をなんとかしたい

今回は、琴浦町八橋(やばせ)地区で活動されている「夢現の風」についてご紹介します。

「夢現の風」の澤会長は、八橋の町をなんとかしたい、盛り上げたいとの思いから、地域住民とのつながりを大切に、住みよい支え合いのある地域共生社会をめざす活動を行うことを目的に掲げ、「やったらいや！」で団体を立ち上げられました。澤会長は、「夢現の風」を知ってもらうため、ロゴマークを作り、Facebookで活動の様子を発信するなど、広報活動にも力を入れておられます。

待ち遠しい水曜日

「夢現の風」では、毎週水曜日9:30から11:30まで、地域の居場所づくりとして、おりづるハウスきないやを運営されています。おりづるハウスきないやには、9:30になると続々と地域の方が集まってきます。きないやでは、利用者が100円を払い、おりづるハウスという名のとおりに折り鶴を折り、体操や脳トレをした後、茶話会が11:30まで開かれています。この活動には、介護予防の面もあり、指を動かし、体操で体を動かし、おしゃべりをして脳を動かすことによって、認知症予防も



できているといえます。

また、ここに来てよかった、生きがいだと思ってもらうため、来やすい入りやすい運営を心掛けているそうです。

子どもたちを中心に地域を盛り上げる

地域で生まれた子どもが、住んでいる地域のことを知らないまま大人になっている、地域を盛り上げるには、まず、子どもたちを盛り上げなければと始まったのが、「八橋ツアー」です。ツアーのガイドは、地域住民である大人ではなく、地元の高校生が努めます。高校生が、ガイドを務めることで、まず、その高校生が地域の勉強をし、さらにツアーに参加した子どもたちに伝えることによって、地域を盛り上げていくことは、非常に大切なことだと澤会長はおっしゃいます。



地域みんなの居場所づくり

今後は、おりづるハウスきないやを空き家利用のモデルとして、地域の中に、徒歩10分以内の居場所を点々と作りたいと考えているし、こういう場所が増えるといいと思う。この場所を楽しみの場、元気な人をつくる場所として運営していきたいとお話をされました。

社協ワーカー向け「情報BOX」

地域の情報をまとめて、分析し、共有する 「鳥取県版地域カルテのススメ」

令和6年3月に鳥取県社協では、冊子「鳥取県版地域カルテのススメ」を発行しました。地域カルテとは、地域アセスメント(情報収集・分析)した記録であり、地域づくりで重要なツールの1つです。

冊子の中では、8つのシートを活用することで、地域の状況をより詳細に理解し、得られた情報を共有することができ、地域とのネットワーク形成がスムーズに行うことができます。また、支援業務の可視化をすることで、地域づくりのプロセスや進捗状況を把握できます。

鳥取県社協のHPに冊子が掲載されていますので、活用してください。



県社協HP
(トップ>地域>地域福祉の推進)

「CORE(コア)」とは「芯、核心」などの意味を持つ英単語です。
地域で活躍する社協職員や特徴ある地域活動等の内側にフォーカスした内容をお届けします。